

(一財) ベターリビング サステナブル居住研究センター

「SLCセミナー2026」のご案内

～ サークュラソサエティ（循環型社会）における住宅建築 ～

一般財団法人ベターリビング サステナブル居住研究センターでは、
「SLCセミナー2026」を開催いたします。
住宅・建築や住宅部品に関わる皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

【開催日】：2026年11月24日（火） 14:30～17:05

【開催方法】：会場聴講＋オンライン（Zoomウェビナー）聴講

* 会場定員50名。参加費無料。先着順・事前登録制。

【会場】：（一財）ベターリビング 7ABC会議室

（東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング7階）

プログラム

14:30～14:35	主催者挨拶
14:35～15:20	「建材、建物の循環がもたらすCO2削減とその可能性」 東京電機大学未来科学部建築学科 准教授 磯部 孝行 氏
15:20～16:05	「編み替える更新へ——循環のなかに建築を位置づけ直す」 明治大学理工学部建築学科 准教授 / 川島範久建築設計事務所 代表 川島 範久 氏
16:10～16:40	「建材の再利用とNEXT21をはじめた時に考えたこと」 サステナブル居住研究センター センター長 / 首都大学東京 名誉教授 深尾 精一 氏
16:40～17:00	「建築物ライフサイクルカーボン政策に係る国内外の最新動向 （改正建築物省エネ法等）」 国土交通省住宅局 参事官（建築企画担当）付 建築環境推進官 宮森 剛 氏
17:00～17:05	閉会挨拶

* 会場参加の皆さまを対象に、セミナー終了後に懇親会（無料）を実施いたします。ぜひご参加ください。

参加申込方法

【会場】



■会場聴講

← 下記URL（または左のQRコード）よりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/2pVYWSJ29i>

* 事務局からの参加受付メールをもってお申し込み完了となります。

■オンライン（Zoom）聴講

下記URL（または右のQRコード）よりお申し込みください。→

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_YQ24hfCNTb-FBp_TWOAgkQ

* ご登録後にZoomより確認メールが送られます。

【Zoom】



・お申込時にご記入いただきました個人情報、本セミナーの参加者確認の目的以外には使用しません。

【お問合せ先】

一般財団法人 ベターリビング サステナブル居住研究センター
〒102-0071 千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング 4 階
担当：吉田 TEL: 03-5211-0585
<https://www.cbl.or.jp/>

講師 ご紹介



磯部孝行（いそべ たかゆき）

東京電機大学未来科学部建築学科准教授。

2008年東京理科大学理工学部建築学科卒業、2010年東京大学大学院新領域創成科学研究科博士前期課程修了。愛知県建設部建築担当技師を経て、2015年東京大学大学院博士後期課程修了、博士（環境学）取得。武蔵野大学工学部助教、講師、准教授を経て、2026年より現職。専門は建築生産、環境材料、環境影響評価。建物・建材のライフサイクルアセスメント（LCA）を中心に、建築物の環境負荷評価、資源循環、リサイクルなどの研究に取り組む。主な著書・論文に、『建築生産（第三版）』（共著）、『建物のLCA指針 改定版』（共著）、「樹脂サッシの再資源化システム構築に向けた基礎的検証」など。



川島範久（かわしま のりひさ）

建築家。川島範久建築設計事務所代表。明治大学准教授。ノルウェー科学技術大学（NTNU）客員教授。

1982年神奈川県生まれ。2005年東京大学工学部建築学科卒業、2007年同大学院修士課程修了後、日建設計に勤務（～2014年）。2012年、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員。2016年、東京大学大学院博士課程修了、博士（工学）取得。東京工業大学（現・東京科学大学）助教などを経て現職。主な作品に、「ソニーシティ大崎（現・NBF大崎ビル）」、「GOOD CYCLE BUILDING 001」、「大阪ガス実験集合住宅NEXT21 504住戸改修 | 編み替えの家」。主な受賞に、日本建築学会賞（作品）、日本建築学会作品選奨、日本建築学会著作賞。主な著書に「環境シミュレーション建築デザイン実践ガイドブック | 自然とつながる建築をめざして」。



深尾精一（ふかお せいいち）

首都大学東京名誉教授。一般財団法人ベターリビング サステナブル居住研究センター長。

専門は建築構法。主な著書に『建築構法』（共著、市ヶ谷出版社1981年）、『建築ヴィジュアル辞典』（共訳、彰国社1998年）、『住まいの構造・構法』（放送大学教育振興会2004年）、『旅する煉瓦』（鹿島出版会2022年）など。主な建築作品に「実験集合住宅NEXT21」（協働作品、日本建築学会作品選奨1996年）、「繁柱の家」（日本建築学会作品選奨1999年）がある。2001年日本建築学会賞（論文）、2007年都市住宅学会賞（著作）受賞。



宮森 剛（みやもり たけし）

国土交通省住宅局 参事官（建築企画担当）付 建築環境推進官。

2004年国土交通省入省。住宅局、都市局等において住宅・建築・都市政策を担当したほか、2017～2020年には総理大臣官邸に勤務。2022～2025年、OECD（経済協力開発機構）においてサステナブル建築分野を担当し、建築物の脱炭素化に関する国際的な政策調査・提言に携わる。2025年4月より現職。住宅・建築物の省エネ・脱炭素化政策を担当し、建築物ライフサイクルカーボン評価制度の創設を含む2026年の建築物省エネ法改正に携わる。